



# 県政報告

岐阜県議会議員 岡田 脩

## ○はじめに

今年の夏は格別に暑く、この地域は雨量の少ない渇水、心配しなげら、夏が過ぎ、いよいよ秋となり、文化、スポーツの秋を迎えました。県議会の第四回例会が九月十八日から十七日まで二十日間、開催されました。

その間、常任委員会(企画経済委員として)特別委員会(長寿社会・青少年対策委員として)、県内視察、九月補正予算に関わる審議等を重ね、一般質問にも発言の機会をいただくことができました。

## ○平成四年度一般会計補正予算の主な事項

国におきましては、八月二十八日総規模、十兆七千億円の財政措置を中心とした「総合経済対策」を定め、我が国経済を内需を中心とするインフレな持続可能な成長経路へ円滑に移行を図ろうとしているところであります。岐阜県経済情勢についてみますと、金属製品、窯業、土石製品等の地場産業を中心に生産の減少傾向が続いており景気の低迷と、先行き極めて厳しい状況であります。

当面の県政の課題は、積極的な景気対策を緊急に実施することが急務であります。

そこで、本県におきましては、本年二月にとりまとめた「地域経済特別対策」をさらに充実することとし、県単独建設事業の大幅な拡大や前金付債務負担行為の



一般質問 議事堂壇上にて

- ・医療体制整備の充実
- ・老人福祉施設の整備促進
- ・高齢者福祉の充実・心身障害者通園事業・保育事業の助成
- (2) 便利に活動できるために
  - ・県単独道路整備事業を百十七億円と大幅な増額
  - ・高速三道等の幹線道路の整備
- (3) 快適な生活ができたために
  - ・水環境整備事業を大幅に増額
  - ・リサイクルセンター整備

に対し助成  
 ・公共下水道事業助成費の増額  
 ・芸術・文化の振興助成  
 ・スポーツの振興助成  
 ・活力が溢れるために  
 ・市町村振興補助金を大幅に増額

・地場産業・中小企業の振興・商業の活性化等の対策費の増額  
 ・中小企業体質強化資金の融資目標額を三十億円追加・融資利率の軽減  
 ・高等学校大規模改修のため十億円計上

以上の歳出予算に見合う財源として公営事業の追加等に伴う国庫支出金三十億円、県債七十五億円のほか、地方交付税七十四億円、繰越金四十三億円等が主なるもので、今まではかつてない大型補正予算二百四十七億四千五百三十九万円を一般会計として計上し、公共投資の拡充と中小企業対策に重点をおいて景気の難局を突破しようとする方針が今議会の特色として、

○一般質問で発言した論旨  
 議員となりまして、二回目の一般質問の機会を与えていただくことになりました。発言内容につきましては、事前に調整し合いました。次の三項目にいたして、

一、ボランティア活動について  
 二、教職員の研修について  
 三、県営水道の水源の現状について

状況送等お知らせする時間的な余裕がありませんので、その失礼をお詫び申し上げます。ほほ発言のまま掲載させていただきます。

○一般質問  
 (十月二日午後四時二十分より)

発言のお許しをいただきまして、通告に従いましたので、三項目につきまして質問をさせていただきます。

質問に入ります前に、景気対策につきましてひとこと申し上げさせていただきます。

昨年、米野先生の自民党代表質問の冒頭に景気対策に関連した予算編成とさらには中小企業対策についての質問に對しまして知事・総務部長商工労働部長答弁があり、地域経済対策にかかわる一般会計として二百四十七億四千五百三十九万円の補正予算をかつた大幅の増加をし、公共投資の拡充などによる賢明なる方策が立てられたことはまことに適切であつたと存じます。

国および県の経済対策によつて、苦難の道を開くことができまして、景気が好転し一日も早く明るい光を見ることができたらと念ずる気持ちでいっぱいでありました。

そこで、この機会に重ねてお願いしたいことがあります。東濃地域の地場産業である陶磁器およびタオル業界では、予想以上に低迷状況が続いており、経営に苦しんでおられる方が極めて多くおられ、いかに突破口をみつめるかを模索されている現状であります。つきましては、中小企業相談窓口において、特定の協業や、組合関係者のみの優遇策にかたよらず、すべての個人および会社に対しても温かい相談活動と気配り指導をいただきたいことを強く要望いたしまして、本題である質問に入らせていただきます。

前回の七月一日の一般質問の知事さんの答弁のことで印象に残っていることがあります。それは、「県民相互の助け合いの心、それはボランティア活動に期待するところが大きい。そこで、ビジョンカレンダーの中で、温かい岐阜県づくりにするために、県民すべてボランティアになつていただく構想を立て、このために、各市町村にボランティアセンターを設け、会員制ボランティア銀行を育成して二十一世紀初頭には県民一人ひとり、ボランティア活動の定着を図りたい」という答弁がありました。知事さんの答弁にありましたようにどうか、早期に各市町村にボランティアセンターを設置され、さらに、ボランティア貯行いいわゆるボランティア活動の時間貯蓄と点数を預託できる切符なり、カード記録ができて、やれる時は一生懸命にがんばり、いずれ、また自分もお世話さまになる時もあるという相互扶助活動の認識を持つたとき、「日本一住みよい岐阜県」になるものと思っております。この頃、県下で福祉活動を主たる目的としたボランティア団体の登録されて見ました。昭和六十二年では一六四団体で一万九〇人であったのが、二年後には、三七六団体の二倍強となり一万六千三百八十八人と増大していることがわか

に對し助成  
 ・公共下水道事業助成費の増額  
 ・芸術・文化の振興助成  
 ・スポーツの振興助成  
 ・活力が溢れるために  
 ・市町村振興補助金を大幅に増額

・地場産業・中小企業の振興・商業の活性化等の対策費の増額  
 ・中小企業体質強化資金の融資目標額を三十億円追加・融資利率の軽減  
 ・高等学校大規模改修のため十億円計上

以上の歳出予算に見合う財源として公営事業の追加等に伴う国庫支出金三十億円、県債七十五億円のほか、地方交付税七十四億円、繰越金四十三億円等が主なるもので、今まではかつてない大型補正予算二百四十七億四千五百三十九万円を一般会計として計上し、公共投資の拡充と中小企業対策に重点をおいて景気の難局を突破しようとする方針が今議会の特色として、

○一般質問で発言した論旨  
 議員となりまして、二回目の一般質問の機会を与えていただくことになりました。発言内容につきましては、事前に調整し合いました。次の三項目にいたして、

一、ボランティア活動について  
 二、教職員の研修について  
 三、県営水道の水源の現状について

状況送等お知らせする時間的な余裕がありませんので、その失礼をお詫び申し上げます。ほほ発言のまま掲載させていただきます。

○一般質問  
 (十月二日午後四時二十分より)

発言のお許しをいただきまして、通告に従いましたので、三項目につきまして質問をさせていただきます。

質問に入ります前に、景気対策につきましてひとこと申し上げさせていただきます。

昨年、米野先生の自民党代表質問の冒頭に景気対策に関連した予算編成とさらには中小企業対策についての質問に對しまして知事・総務部長商工労働部長答弁があり、地域経済対策にかかわる一般会計として二百四十七億四千五百三十九万円の補正予算をかつた大幅の増加をし、公共投資の拡充などによる賢明なる方策が立てられたことはまことに適切であつたと存じます。

国および県の経済対策によつて、苦難の道を開くことができまして、景気が好転し一日も早く明るい光を見ることができたらと念ずる気持ちでいっぱいでありました。

そこで、この機会に重ねてお願いしたいことがあります。東濃地域の地場産業である陶磁器およびタオル業界では、予想以上に低迷状況が続いており、経営に苦しんでおられる方が極めて多くおられ、いかに突破口をみつめるかを模索されている現状であります。つきましては、中小企業相談窓口において、特定の協業や、組合関係者のみの優遇策にかたよらず、すべての個人および会社に対しても温かい相談活動と気配り指導をいただきたいことを強く要望いたしまして、本題である質問に入らせていただきます。

前回の七月一日の一般質問の知事さんの答弁のことで印象に残っていることがあります。それは、「県民相互の助け合いの心、それはボランティア活動に期待するところが大きい。そこで、ビジョンカレンダーの中で、温かい岐阜県づくりにするために、県民すべてボランティアになつていただく構想を立て、このために、各市町村にボランティアセンターを設け、会員制ボランティア銀行を育成して二十一世紀初頭には県民一人ひとり、ボランティア活動の定着を図りたい」という答弁がありました。知事さんの答弁にありましたようにどうか、早期に各市町村にボランティアセンターを設置され、さらに、ボランティア貯行いいわゆるボランティア活動の時間貯蓄と点数を預託できる切符なり、カード記録ができて、やれる時は一生懸命にがんばり、いずれ、また自分もお世話さまになる時もあるという相互扶助活動の認識を持つたとき、「日本一住みよい岐阜県」になるものと思っております。この頃、県下で福祉活動を主たる目的としたボランティア団体の登録されて見ました。昭和六十二年では一六四団体で一万九〇人であったのが、二年後には、三七六団体の二倍強となり一万六千三百八十八人と増大していることがわか

窓口において、特定の協業や、組合関係者のみの優遇策にかたよらず、すべての個人および会社に対しても温かい相談活動と気配り指導をいただきたいことを強く要望いたしまして、本題である質問に入らせていただきます。

前回の七月一日の一般質問の知事さんの答弁のことで印象に残っていることがあります。それは、「県民相互の助け合いの心、それはボランティア活動に期待するところが大きい。そこで、ビジョンカレンダーの中で、温かい岐阜県づくりにするために、県民すべてボランティアになつていただく構想を立て、このために、各市町村にボランティアセンターを設け、会員制ボランティア銀行を育成して二十一世紀初頭には県民一人ひとり、ボランティア活動の定着を図りたい」という答弁がありました。知事さんの答弁にありましたようにどうか、早期に各市町村にボランティアセンターを設置され、さらに、ボランティア貯行いいわゆるボランティア活動の時間貯蓄と点数を預託できる切符なり、カード記録ができて、やれる時は一生懸命にがんばり、いずれ、また自分もお世話さまになる時もあるという相互扶助活動の認識を持つたとき、「日本一住みよい岐阜県」になるものと思っております。この頃、県下で福祉活動を主たる目的としたボランティア団体の登録されて見ました。昭和六十二年では一六四団体で一万九〇人であったのが、二年後には、三七六団体の二倍強となり一万六千三百八十八人と増大していることがわか

地元の新聞 皆様の中日新聞

チラシで潤う家庭経済 明るい家庭に中日新聞

取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞 中部経済新聞・証券新聞・工業新聞・英字新聞 他20種類

土岐市泉町中央町

中日新聞平岡新聞舗 TEL 55-2335

安心出来るご葬儀を

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

総合葬祭 やまと葬祭

●JR共済組合指定 ●電気通信共済会指定 ●郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

54-3421 54-8378 FAX 55-0124



企画経済委員会での県下視察場面

りました。年々「質・量」ともに拡大していることは、まことによろこばしいこと

であります。その中の、私の地元である、土岐市・土岐郡に目を向けてみますと、社会福祉協議会が中心とな

られ、地域の訪問活動、施設への訪問活動が盛んに行われており、社会教育関係では青少年健全育成ポラン

ティア・警察関係においては、自治会総参加による交通安全指導、治安・防災ポランティアが定着していま

す。身近な事例をあげてみますと、生活学校がありま

すが、学習と実践とをおりませながら知恵と汗をモットウにして研修活動がされて

ております。汗の部分では廃油を集めては粉石けんへ

と、また牛乳パックからの再生紙など地道な奉仕活動を描き実践されてい

る姿に頭をさがる思いがいたしてあります。最近では、島根県や福井県からも見学

に來られるというこで益々意欲が高まっております。廃油から粉石けんにする機械を購入する財源がないの

でより人間関係と心豊かな人間性を育てるのになんとか役立てようと考えられ、一万二〇〇〇平方メートルの広大な地に九〇〇米の遊歩道、ベンチ十二ヶ所、植樹

ましては県として惜しまず与えるということをしな

つりまが来ると思っています。笠原町の公民館活動では先

き程文部大臣賞を受賞され、全国大会で実践発表をされ

ておりますが、その中味はすべてポランティア活動に

よる所でありまして。県下どこもポランティアは当然

の如く行われているので、当り前ととらえないで、ど

んなに小さなことであつても、ポランティアは素晴らしい

賞賛を送ることを惜しまないよう、特に行政においては大切なことだと思いま

す。さらに、ポランティア活動を大きくした事例の一つ

一つには、ポランティア活動は自己開発・自己実現につながる生涯学習である。

このように施設を作つて寄贈を受ける場合の今後の

維持管理を県でも十分にめんどろを見ていただきたい

と要望いたします。ポランティアは幅広い

小グループから大きな団体

にいたる種々さまざまであり

ます。ポランティアといえ、社会福祉と頭に浮かんでき

ますが、ここで警察本部長さんにお尋ねいたします。県

民の治安と交通安全の命を守り、安心して住める社会

人間性では、愛情の豊かさ・誠実さ・積極性・責任

管理を体験的に学び、一層幅広い見識を深めることをねらいにして実施されてお

に受けとめて実践されているか、また今後どのように推

進しようと考えておられるかをおうかがいをいたしま

す。続きまして、教職員の研修につきましまして教育長さん

の所見をいただきたいと存じます。望ましい教師の資

質は何かと言われたら、私は、人間性と専門性の二面

が大事であると思つておりました。人間性では、愛情の豊

かさ・誠実さ・積極性・責任感・共感性そして最も教員

が持つべき点であります。また専門性では、指導力・

研究心・使命感等が必要条件であります。唯今、申し

を背にしながらゴミ・あきかんを拾う若い先生の姿を見

に雨量が非常に少なく、東濃水道の水源池である長

野内にある牧尾ダム並びに可茂水道の水源池である

岩屋ダムは、いずれも貯水率が平年より大幅に下回

っております。現在、東濃用水では、九月二十一日から五

パーセントという厳しい給水制限が九月二十五日から

五パーセントの給水制限が実施されております。

さらに、このような状態が進みますと、これから雨

の少ない冬期に向かつか、両地域の受水県民の生活等に

支障をきたすのではないかと心配されます。

教頭研修は取りあえず二十五人を対象にスタートさせたが、リーダーとしての

幅広い見識など身に付けさせるのが目的である。

本年度の研修実績をふまえて、今後の派遣先の拡大

と検討していきたいと考えている。また初任者研修

等、体験学習的な研修をより多く持ち、人間性と専門

性の両立を考え、信頼される教師となつていただく

よう努力する。

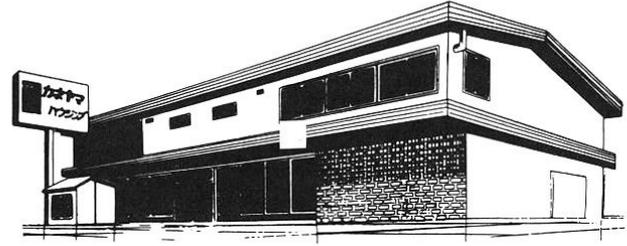
警察行政に対しての奉仕活動は、従来よりひじょう

に協力的に参加していただき、交通安全協会を中心とした自治会にまで協力体制

の定着ははかられ感謝している。また治安活動・青少年問題・深夜の警備につ



豊かな住まいづくりと暮らしをご提案！



カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市泉森下町2 TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

よって長大！ みて長大！ かつて長大！

カシヨップ 長大

営業時間 AM 9:30 PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62 TEL 55-1844

